

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878

平成三十三年八月二十八日
Bグループが海上の森へ
入りました。

イヤイヤプリーチのもと
で説明を聞きながら
ら散策と森の木の実
を採集しました。
暑い中登山に入り
視張り元気で終了
いゝ取柄が出来まし
な。

あつち海上の森センターとして人が生きよう為の「食」も
(愛称「ムーアカデミー」) 自然に生きていく。動植物達の「おかげ」と
本館前に集合入山
式を行なう散策いなし
ました。
森の歴史館
蒲玉広場・物見立
を過ぎて森の木の実を
集め、リスが冬を生き
ていこうが確認する
ことが出来ます。



2011/08/28

森と海との繋がり
「食」も
自然に生きていく。動植物達の「おかげ」と
感謝しなけ
ればなりません。



2011/08/28

▲イヤイヤの
説明に納得したお
松ッポウの食へを
がエビエの様に
食べられるカリスの
食へ方です。

庄内川が伊勢
湾へ流れいな
木も運んでおり
ます。

ゲンタリ。
おなまき習になりました。今日も暑か
木の実はピコ採し

海上の森の植物
理地や谷部周辺には、シデラン
に代表される東海丘陵要素
植物群が分布しています。
北部の篠田川流域では樹高の
高いサクラバハシキが分布し、こ
まうなまきとまりのある大きなサクラ
バハシキの分布は県内でも特異
的な存在です。

海上の森の動物
林内及び林縁部では哺乳類のアマ
モウラ、昆虫類では春の女神と称さ
れるヤブチユウが見られ
河川やこの地域の特徴といえる遷地
ではホトケにシマヤチヌシなどが生息し



2011/08/28

